

## 令和3年度テクノアカデミー郡山産業人材育成推進協議会議事録

1 開催日時 令和4年2月24日(木)

時間 13:30~15:00

2 場所 テクノアカデミー郡山(オンライン会議)

3 出席者

産業界：6事業所

教育機関：2校

行政機関：1機関

4 次第

(1) テクノアカデミー郡山職業能力開発実施計画(5か年)について

(ア) 現計画(平成28年度から令和2年度まで)の実績について

(イ) 新計画(令和3年度から7年度まで)の(案)について

(2) その他

5 議事

資料1-1 福島県立テクノアカデミー郡山職業能力開発実施計画(地域貢献プラン)を使用した説明

第1章(1, 2)、第2章(6)、第3章(I, II)、第5章(1, 2)を説明

出席者からの意見、質疑等は次のとおり

(1) 基本施策(資料1-1 (9頁~13頁))について

	意見内容	氏名
1	人材育成の基本的な方向性は計画に賛同します。	賛同いただきありがとうございます。
2	情報産業協会としてはデジタル時代に対応するため「プログラミング」技術を持つ優秀な人材を必要としているのですが、離職者や高齢者、女性のなかでプログラミングを希望する方は多くはないのが現実です。各企業内での訓練は当然としてテクノアカデミーの取組に期待しています。	学生のプログラミング技術の習得には取り組んで参りたいとおもっております。

3	<p>Web の分野ではブラウザからアプリへ、システム的にはクラウドサービスへシフトしてきています。この様な新しい技術に積極的にチャレンジする人材育成に期待します。</p>	<p>期待に添えますよう事業を進めて参りたいと考えております。</p>
4	<p>リモート会議やセミナーが普通に実施される時代なのでテクノアカデミーの取組や訓練内容をオンライン教材に出来ると情報発信と入学者不足の対策にもなるのではないのでしょうか</p>	<p>学生に対しまして双方向のオンラインの授業を今年度からコロナからの影響も受けまして実施しているところです。</p> <p>今年は全職員がオンライン授業に対応できるようスキルを上げることを目指し、1人20時間程度全職員が実施しました。次年度においても実施予定です。</p> <p>誰でも視聴可能なオンライン教材についての提供についてのご意見だと思いますが、現在は、オンライン教材については作成してはおりませんが、今後どのような取り組みができるか検討していきたいと思っております。</p>
5	<p>基本施策全体としては、いずれも重要であり、しっかりと推進を図るべきものと思料します。一方で、新たな計画策定にあたり、今回のハイライト（従来の計画からの大きな見直し）、廃止した施策、恒常的に進める施策などがわかりやすく分類されてまとめられていると、資料としてのわかりやすさが向上し、さらに効果的な意見の集約が可能になると思料します。</p>	<p>ご指摘により計画の概要を作成させていただきました。</p> <p>先ほど画面に提示させていただいたものです。</p> <p>赤字で記載している部分が新たに取入れた内容でございます。</p>
6	<p>・DX、IoT等の新技術を捉えつつ、地域に根差した職業訓練を実施されていることに、同じ職業能力開発施設として感服いたしました。</p> <p>令和4年度は、当センターにおいても民間機関活用のもと、在職者向けにDX対応コース立ち上げ、中小企業におけるDX導入を支援してまいります。引き続き貴校と情報共有させていただけますと幸いに存じます。</p>	<p>引き続きのご協力をお願いしたいと思います。</p>

7	<p>基本的施策におかれましては、県の情勢や企業ニーズ、また多様性を考慮した人材育成の施策となっておりこの掲げていただいた育成施策が確実に実施されることを願っていますし、微力ではありますが、お手伝い出来る事が有りましたら、協力させていただきたいと考えますので何なりとお申し付けください。</p> <p>中でも、3－(2)若者に対する職業能力開発支援で、新入社員に求められる知識マナー、社会人として必要な能力を身につける在籍者訓練や4－(2)若年技能者の育成においての熟練技能者の実演や指導を受ける機会においては企業の中での実体験が有益と考えますので、是非ご検討下さい。</p>	<p>どのような連携ができるか具体的なお考えがあればということですが、例えば学卒訓練で卒業研究のテーマに関するご助言をしていただく企業様の紹介ですとか、在職者訓練の企業様への周知など連携を図っていきたいと考えております。情報の交換ですとか、情報の共有をお願いしたいと考えているところでございます。</p> <p>我々も在職者訓練の受講者確保については、苦勞しております、この点においても講座や、訓練コースをそれぞれのチャンネルで周知の協力をしていきたいと考えております。</p>
8	<p>10～11頁の(3)企業ニーズに応じた在職者等の職業能力開発への支援について</p> <p>「・・・等の企業支援団体との連携を強化し、企業における多様な人材育成の取組を支援します。」とありますが、連携について何か具体的なお考えがあればご教示ください。</p> <p>在職者訓練につきましては、6頁にも記載のあるとおり、昨今の人材確保の難しさから重視されてきていると感じております。このため、当財団としても、人材育成講座「マイスターズ・カレッジ」を毎年実施しておりますが、求められるテーマも多様化しており、参加者の確保には苦勞しているところもあります。</p> <p>当財団におけるこうした課題も踏まえ、貴校とは情報共有を図りながら連携協力してまいりたいと考えておりますので、ご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	

(2) その他の部分について

	意見内容	
--	------	--

1	しらかわ地域企業への情報発信は産業サポート白河の強みです。企業向けの情報や訓練等のお知らせを提供いただければプランにあった「情報発信の強化」にご協力できるかと思えます。	引き続きご協力をお願いいたします。
2	しらかわ地域においても人材不足は多くの企業が抱える悩みです。就職先にしらかわ地域企業があるということを訓練生に知ってほしいです。	学生も授業で工場見学等を実施しているところがございます。今後工場見学を実施する際には、工場のご紹介などを協力していただければと思っております。
3	学科のネーミングが斬新なのは良いとして、各学科の目指す「人材像(卒業後にどんな職業に就けるか)」「学習過程の説明(例えばプログラミングはどのくらい学べるのか)」などの具体的な情報が少ない感じがします。情報産業の分野では、AI、DX などの新しい言葉や概念がうみだされますので、各学科での取組範囲を拡げすぎるとまだふれたことの無い若年者にとっては分かりにくいかもしれません。	本計画には、具体的な情報が少ないような気がしますとのことですが、具体的な情報は、頂いた意見等を学校案内本日の資料の学校案内のほうに具体的な情報を反映させるように検討していきます
4	全国に多くの職業訓練の場があると思いますが、それぞれさまざまな課題を抱えつつ、努力をされておられるものと思います。そのような他所で実施されている優れた取り組みなどを情報交換するチャンスはあるのでしょうか。第2章で書かれている状況分析はとてもわかりやすくまとめられていると思いますが、やや地域に限定し過ぎた内容になっているとも感じられ、上記のような点も含め、より広い視点に立った状況分析・情報収集なども考慮してもよいのではないかと感じました。	毎年、東北6県の職業能力開発施設が一堂に会して、東北ポリテクビジョンというものを開催しております。これは東北6県にある職業力開発短期大学の学生の研究成果を発表する場になっております。こちらに毎年短大校の学生は参加して発表を行って、他県の学生、職員との意見交換をしております。 状況分析についてですが、本計画は、上位計画としまして、11次計職業能力開発計画に沿った内容としておりまして、県内の状況分析になっております。
5	●生徒様の就業意欲向上に向けた提案です。弊社では、テクノアカデミー様を代表に多くの学生様の産業用ロボット見学やキャリア教育を目的とした工場見学を受け入れていますがその中で、引率された先生様から「生徒の就業意欲」	施策の2(4)のキャリア教育の推進において学生につきましては、就職の対策や支援を行っているところがございます。SDGsに関連させた取り組みですとか就業意欲の向上に向けた取り組みについても

	<p>という言葉をよく耳にします。</p> <p>本実施計画（地域貢献プラン）を拝見する中で、技術・技能向上に向けた内容としては申し分ないと感じましたが、この中に就業意欲向上に向けたプランがあっても良いのではと感じました。</p> <p>ちなみに、弊社の工場見学を終えた生徒様から寄せられた感想の中には弊社の「環境への取り組みに感心した」との意見が多くあることから、今、社会の関心事となっているSDGsを、習得させる技術・技能と紐づけさせその技術・技能を企業等で活かす事で、環境問題にも大きく貢献出来るといった指導を組み込まれてはいかがでしょうか。</p>	<p>この中でどんなことができるかを検討してみたいと思っております。</p>
6	<p>郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会では、情報化人材育成事業として「ハッカソン」(地域が抱える課題解決に役立つプログラム作品のコンテスト)を実施しておりますが、貴校から毎年参加して頂いており、来年度も参加をお待ちしております。</p>	<p>ハッカソンの実施については、本校でも毎年参加しているところで、こちらこそ今後ともよろしく願います。ぜひ今後も参加にむけて取り組みたいと考えております。</p>

#### 意見交換

	意見内容	
1	<p>基本的施策の中で、ロボット、航空宇宙関連の人材育成をハイライトの一つとして取り組もうと、県の施策にも合致して非常に素晴らしいのではないかと思います。</p> <p>ロボットに関しては、かなり福島県への企業の進出が特に浜通りを中心に進んできていると感じています。</p> <p>ただし、全体として規模の小さな企業が多く、非常に面白いことをやっているのですが、企業自身が求人活動等を積極的にやると</p>	<p>展示交流会を3月4日に実施するのですが、昨年も、昨年南相馬で実施したワールドロボットサミットにメイドイン南相馬のロボットが出場されて それを取りまとめされていた南相馬ロボット協議会の五十嵐会長から基調講演をしていただくことになっております</p> <p>地域の企業さん巻き込んでの取り組みなどについてお話しただいて、学生にも地域ぐるみで取り組むことのすばらしさをお伝</p>

	<p>いう余力がなかなかない場合も見受けられます。</p> <p>こういった分野に人材を送り込もうとしている教育機関から逆に生徒をそちらに目を向けさせるという意味での、セミナーですか、あるいは業界の方に来ていただいて「こんな面白いことをしているよ」といった生徒さんにお知らせする。情報発信ではなく情報輸入というのでしょうか。そういったことにも取り組んでいただくとモチベーションが上がって、そちらのほうに目をむけるということにつながるのではないかと考えられますがいかがでしょうか。</p> <p>特に新しく来られた企業さんで非常に面白い内容をやっておられる企業、外から見てるだけでは、内容まではなかなかわからないということがあるのではないかと思う。プロが見てもわかりにくいのに、生徒さんから見たら余計わかりにくい。</p> <p>そういった内容を分かりやすく生徒さんに情報提供するものがあると新しい施策により貢献するのではないかと思い発言させていただきました。技術交流会も含め、いろいろ工夫をしていただけるとよいとおもいました。</p>	<p>え頂ければというふうに思っております。</p>
2	<p>本協会としてもプログラミングができる優秀な人材がほしいと思っており、テクノアカデミーに期待するところ大である。しかし結果を見ると定員が割れてしまっていて、就職は100%できていて、非常にもったいない。これからどういう勉強をするのか、学科名と、何をやっているかというところが結び付</p>	<p>今まで組込技術工学科ということで、どちらかというとも機械系の制御を中心でしたが、組込技術を中心に教えていく中で、プログラム、ソフトの部分とハードの部分電子回路、プログラムを使って動かす技術の両方を兼ね備えた人材の育成として知能情報デザイン学科ということにさせていた</p>

	<p>きにくいのではないかと思う。A I, とかロボットとかは、最先端でよさげに感じるが、大学でも難しい部門をテクノアカデミーが本気になってやるべきなのかというのが若干気になった。</p>	<p>いて科名も変更したところです。これも企業のニーズからプログラムだけできる人はいる、ソフトとハードの両方の知識を持たせてほしいという強いニーズがあったものですから、知能情報デザイン学科を作った。名称とやっている内容がご指摘の通り一致していないというところは、我々もどうすれば伝わりやすくなるかを考えて、特に具体的なものとしては、学校案内に入れ込んで、高校生にわかりやすく説明して学生の確保に努めていきたいと考えております。</p>
3	<p>高校生の募集という話もありましたので、高校子供の数が減りまして、この後令和10年までで中通りだけで1200人余り生徒が減ります。そういう中で、今回気になっていたのが入学生の定員の確保。今質問とか話題にもなりましたように高校生のPRを強化していくのが大事。県内の高校も令和10年までに学校の統廃合をやっているところですので、そういう意味での入学者の確保というのが、非常に重要だと思います。そういう意味で、分かりやすい説明、情報発信は非常に重要になってくるのかなと思います。</p> <p>あと、生徒だけではなく、保護者への情報の発信というのが、テクノアカデミーさんに限らず我々も同じような課題を抱えていますので、今後の生徒減少の状況も踏まえて発言させていただきました。</p>	
	<p>就職率のほうは100%、定着率のほうは8割程度、離職される方が2割ということですがこの数字というのは、高いと見られているのか、まだまだ改善の余地があると見られているのでしょうか</p>	<p>定着率については、概ね8割、3年たって8割というのは、それほど低い数値ではないと感じております。就職支援指導が生きているのかと感じております。ただこれも学科間によってばらつきがございまして、機械系は比較的高く、どちらかというとなら</p>

<p>また、離職の理由等についての情報がありましたら、我々の企業での生産活動の指導に役立てていきたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願いたします。</p>	<p>系が低めになっております。 また、キャリアアップのために同業種に転職する場合もありますが、新卒で3年間は、社会人の基礎固めを身に付けて欲しいと思っております。</p>
<p>建築業界の中でも、テクノアカデミーの学生さんを採用したいという企業さんがたくさんあるのですが、その方法がわからないという方もいます。 例えば、授業の中に企業の方（親方）が出向いて、話をさせてもらえると助かるのでいかがですが。</p>	<p>建築科は、30人講師の方が外部から来ていただいております、その中で、2日間の集中実習というのがあり約15人～20人くらいの講師（企業の方）に来ていただいて実習をしています。集中実習の講師として来ていただいて、業界のお話をさせていただくような形を取れば学生たちも非常に勉強になって参考になると思います。 また、各工務店さん等の現場に学生をつれてお邪魔させていただきたい。その時に自社の説明や、PR、求める人材等を話していただければ学生も励みになると思います。 積極的に実施していきたいと思っておりますので、ぜひいらっしゃればお声をかけていただきたい。よろしくお願いたします。</p>
<p>人材育成の強化で、生産性向上を図るためのIT関連技術の訓練の実施とあるのですが、今の段階で具体的に実施テーマ、ジャンルなどは、すでに決まっているのでしょうか。すでに決まっているものがあれば教えていただきたい。</p>	<p>在職者訓練ですと、セミナーガイドの37から41あたりは、IT技術を意識したコースになっております。来年度に向けては、どのような形にするかは、今まさに検討しているところでございますが、こういった分野のセミナーについては、充実を図っていきたく考えていうところであります。</p>
<p>HW、テクノアカデミーさんと、ポリテクさんとで郡山市内の商業施設（モール）で、3機関が合同で周知活動をさせていただきました。先ほど保護者の方への周知という話もありましたが、その周知によって訓練を知った</p>	<p>今後ともよろしくお願いたします。</p>

	<p>というご意見もありましたので、今後も取り組んでいければと思っています。また訓練だけではなくハローワークのイベント等について郡山市の LINE や YouTube などを活用させていただき情報提供させていただいて一定効果も得られたところです。このコロナ渦の中で職業訓練については、国も最重要課題と位置付けられておりまして来年も受講者の確保については、我々もいろいろ模索しながらやっていきたいと思っておりますので引き続き来年も訓練機関といろいろな企画をやっていければと考えていますので、どうぞよろしくをお願いします。</p>	
	<p>在職者訓練につきましては、企業等のニーズ等を調査しながらテーマを決めていきたいとお話を伺ったところですが、具体的にどのような形でニーズの調査を行っていく予定なのかお考えがあれば、お聞かせ願いたい。</p>	<p>本校においても、セミナーのニーズ調査については、企業訪問、受講者アンケートが主なものになります。</p> <p>全体の情報のインプット、アウトプットをとって情報を発信してというところで我々も企業への情報発信に、メーリングリスト、web サイト、SNS 等は使用しておりますが、ダイレクトに企業様とのチャンネルは、我々がやっている以上のものはない。後ほど個別でも結構ですので、チャンネルの情報等があれば、わたくし共に教えていただけたらと思います。</p>